

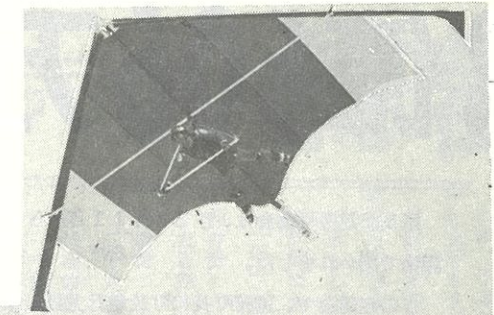
広報 **ニセコ**

昭和53年4月1日発行

No. 194

ニセコ町役場総務課

— 予算特集 —



たいせつに保存をあとでお役に立ちます。

第3回 雪の祭典 盛会に終る

冬の北海道の一大行事として一昨年より行なわれている、第3回北海道雪の祭典が本町を主会場に3月4日～5日の2日間実施されました。

行事内容も年々充実され、プロサーキットレース、ハングライダー、道民歩くスキーのつどい等盛りだくさん。

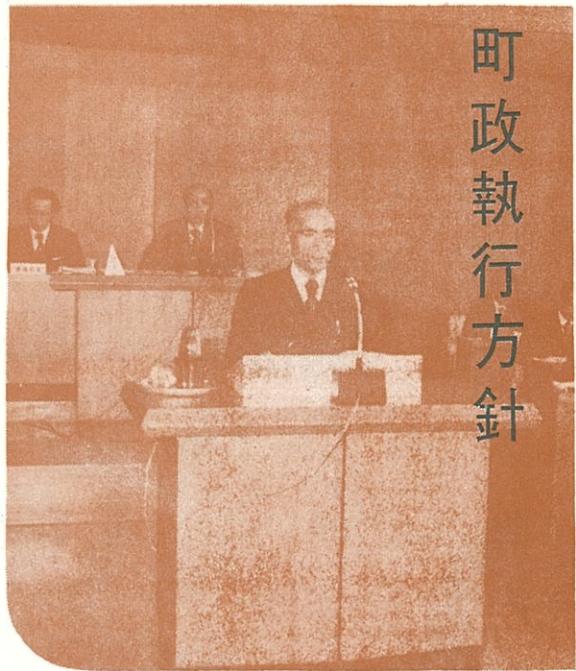
特に今年は、農業後継者三組による雪上結婚式も行なわれ、ニセコ町内からは、千葉伸一さんと高橋由美子さんがめでたくゴールイン、会場の皆さんからの盛大な祝福をうけました。

昭和53年 **4** 月号



町づくり 18億606万8千円

町政執行方針



第3回定例町議会は、さる3月11日から18日まで議場で開かれました。
この定例会で、遠藤町長の町政執行方針、春日井教育長の教育行政方針をそれぞれ明かにしました。
そのあと昭和53年度予算外を審議し可決されました。

4本を柱として

- 生活環境の整備
- 農業生産基盤の確立
- 体育文化の振興
- 地域開発の推進

町政執行方針

昭和五十三年度の各会計予算案に提出するにあたり、町政執行に關する私の所信と基本的な方針について申し上げ、町議会ならびに町民のみなさんのご理解と、ご協力をいただきたいと思ひます。私が町長の重職を担ひましてから、ここに二期八年を終る年を迎え、その間とどまることを許されない地方自治の叡しさの中で、住民の理解と協力を得ながら、私の町づくりの目標である、明るく豊かなそして住みよい郷土実現のため最善を尽してまいりました。

しかしながら、我が国の経済が高成長経済から減速経済へと変革する過程にある中で、地方自治を取り巻く情勢も数多くの困難な問題に直面し、今後解決すべき課題が山積しております。

私は、ここに改めて住民から町政をまかせられた首長として、その責任を痛感するとともに、いかなる困難にも屈することなく、町民のみなさんの信頼と期待にこたえる町政を執行する決意であります。

さて、昭和五十三年度の予算編成に當つては、国の予算や地方財政計画等を参しやくしながら
一、生活環境の整備
二、農業生産基盤の確立
三、体育文化の振興
四、地域開発の推進
この4つを柱として、明るく豊かなそして住みよい郷土づくりのりの問題点があり、再三にわたり保健所等の指導を受けながら是正してまいりましたが、すでに限界点に達してまいりましたので、今後本と畜場を維持していく事は、現状のままでは不可能であります。
新しく浄化槽を建設するか、それとも廃止するかについても、抜本的に検討しなければならぬと考えています。

次に、本年度予算編成にあつて主なるものについて、概要を款をおつて説明いたします。

総務費関係

ファミリースポーツセンター建設基金 五千万円

明るく豊かな郷土を築くためには、たくましい身体と健全な精神は欠くことのできない原動力であります。

町史編纂事業 百二十万円
町の事蹟を後世に永く伝え、町の進展に資する目的で、昭和三十三年に発行された狩太町史も発行以来すでに十七年を経過しましたので、昭和五十六年に予定されてる開村八十周年記念祝賀事業

職員住宅建設事業 一千六十万円
現在町の職員住宅は七十二戸ありますが、そのうち十七戸は、昭和三十六年に王子製紙株式会社から従業員住宅の払下げを受け建設したもので、すでに木造住宅の耐用年数も過ぎ相当老朽化しております。
職員の福利厚生のため、本年度は一棟二戸建設したいと考えています。

町有林造成事業 八百二十九万円
町有林として、昭和四十八年から造成してきましたが、峠第一団地(真狩村界)五八・〇七ヘクタ

第3回定例会 明るく豊かな 《町の台所は》総額

次に、予算編成の大綱について申し上げます。

一般会計については、対前年比構成内容では
才出として
人件費において
二千三百九十二万三千円の増
物件費
九百四十九万八千円の増
公債費
二千九百三万四千円の減
維持補修費
一千四百四万円の増
補助費等
五百五万三千円の減
投資的経費
一億一千四百二十九万九千円の増

となり才入として、一般財源の主流をなす地方交付税が一億三千六百万円の増、町税一千八百二十万五千円の増を見込みました。
しかし、これだけの投資的事業を実施する為には、必然的に起債に依存することとなり、二億四千四百三十万円の地方債を見込みました。
更には、財政調整積立金三千万円の繰入れを行ない、本年度も積極的に事業を推進していくつもりであります。

しかし交付税、地方債につきましては、多分に流動的要素を有している事を念頭に、今後執行にあたりましては常に変化に対応できるように、財政運営に留意してまい

りたいと考えています。

国民健康保険事業特別会計では才出の九三・七%を占める保険給付費については、九・六%の医療費値上げ分と療養給付費、高額療養費の伸び率をみこんで前年対比二千七百二十六万六千円の増となります。

しかし、この財源については、できるだけ住民の税負担をさげるべく検討した結果、五十二年現行予算額の七%増にとどめましたがこれでは本会計を維持していく事は甚だ困難でありますので、才出では極力消費的経費の削減をはかり、才入では基金繰入金七百萬元一般会計繰入金五百萬元を計上いたしました。

簡易水道事業特別会計では才出の七二・三%は、新規事業の市街地区簡易水道改良工事に伴う建設改良費であります。その他として量水器二百六戸分の取替工事を計画しており、才入については、改良工事に伴う六千二百十萬円の町債と、一般会計からの繰入金二千三百三十万円を計上いたしました。

と畜事業特別会計では特に新たな事業の計画はなく、主なる才出は業務管理委託料であり、それに伴う才入は使用料を見込んでいます。

ただ、本と畜場の浄化槽については、現在の公害の基準ではかな

ール、時第二団地（小花井奥）六一・二ヘクタール、農家林改良造林（曾我）二・〇ヘクタールについて本年も継続して下草刈等を実施したいと考えています。

なお、本年度は特にブルドーザーで地寄せした成育の悪い、四〇・二ヘクタールについて施肥をしたいと考えています。

その他

北栄部落集会所建設補助事業 四十万円

産業振興基金積立事業（積立増額分） 五百万円

戸長役場之碑設置事業 九十五万四千円

庁舎内議場改築事業 五百七十三万二千円

庁舎内塗装事業 百二十六万二千円

職員研修事業（自治大学校研修外） 六十八万九千円



民生費関係

町社会福祉協議会事業補助 二十五万円

町の社会福祉活動推進のため継続して本年もその事業に補助してきたいと考えています。

また、住民とともにする社会福

祉活動の場として、ボランティアによる愛情銀行の設置も検討中であり、さらには社会福祉協議会の法人化も行政指導上検討してみたいと考えています。

老人医療費扶助事業 三千三百九十六万円

長いあいだ社会に尽くしてきた老人が、病にたおれても安心して医療にかかれるよう、本年度も本事業を継続していきたくと考えています。

また、老人が健康で生きがいある老後が送れるよう、老人家庭奉仕員の活動を活発にし、さらには単位老人クラブの設置をはかり、敬老会、老人健康調査等にも深く意を用いていきたいと考えています。

衛生費関係

保育児の町外入園者補助事業 四十八万円

町立保育所の定員は現在九十名ですが、例年五才児については三十名の定数を大巾に上まわっているため、本年度は補助基準をつくり、一人月二千円の助成をしたいと考えています。



予防事業 二百七十五万六千円

町民の健康管理のため、本年も札幌医科大学教授による乳幼児の健康診断、対がん協会による検診

など積極的に進めてまいりたいと考えています。

また国の制度改正により本年度から「健康で明るい家庭」をつくるために、国民健康保険事業特別会計にありました保健婦関係の予算が、一般会計に計上され指導系統の一元化がなされました。

中央墓地造成事業費 八万円

前年中央墓地がせまくなつたことにより購入した三千二百二十平方メートルの敷地については、本年度早々に区画割をし、容易に墓参できるように整備したいと考えています。

じん芥処理事業 四百五十四万四千円

前年より通年使用している羊蹄じん芥捨場については、本年度も管理人を常置させたいと考えています。

なお冬期間の捨場の使用については、捨場道路の除雪委託料八十四万円を見込みましたので、容易にできるのではないかと考えています。

農林水産業費関係



馬鈴しよ種子対策委員会事業補助 二百五十万円

ニセコ町の基幹作物である馬鈴しよの優良な種子を生産確保するため、種子生産農家の栽培技術指導、種子馬鈴しよ圃場周辺の環境浄化として、一般馬鈴しよ圃場の適期防除、種子更新率の向上を図る対策を推進するため、総額五百五十万円の事業費に対し農協より三百万円、町として二百五十万円補助したいと考えています。

トラクター安全フレーム取付補助事業 七十五万円

近年補助事業により導入するトラクターには、安全フレームの取付が義務づけられていますが、それ以外のトラクターにはこれがなため事故も発生しています。

本年も農作業の安全をはかるため、一台十二万七千七百円必要とする取付費用に対し、町として二十五万円、農協より二万五千円補助して取付を奨励したいと考えています。

肉豚価格安定事業基金補助事業 六十万円

変動の激しい肉豚価格が低落した場合、価格補償によつて生産農家の経営安定を図るために設立し

た社団法人北海道畜産物（豚）価格補償協会に対し、五千頭を枠として一頭当り六百円で三百万円を積立てることになります。積立割合は農協、連合会が四五％（一頭当り二百七十円）、養豚農家が五五％（一頭当り三百三十円）となつていますが、養豚農家の積立に対し、一頭当り百二十円、総額六十万円を補助したいと考えています。

草地管理事業 四百一万九千円

入牧牛の健全育成をはかり、町営牧野の草地を維持するため、本年度も適正な追肥、掃除刈、隔障物の補修等を実施したいと考えています。

水田利用再編対策事業 一千三百八十四万円

米については、最近稲作志向が極めて強い一方、需要が引き続き停滞し、反面今後増産の必要な農産物の生産は停滞傾向を脱していません。

国としても国内資源に依存する食生活への積極的な誘導を図りつつ、農産物の需要の動向に即した総合的な食糧自給力の向上を図るため、新たに水田利用再編対策を実施し、長期的な視点に立つて、今後生産振興の必要な農産物につき、水田の高い生産力を活用した生産拡大を実現するとともに、農地利用の中核農家への集積とその高度化を促進し、需要の動向に安

定的に対応し得る農業生産構造の確立を期しています。

町としてもこれに対応し、更には本町農業の存り方から、地域にあつた水田の転作畑の一環として積極的に推進するべくそれぞれの事業を計画しました。

農業用シヨベル購入事業

一千三百十万円

現在の農業用シヨベルは昭和四十八年に購入したもので、すでに耐用年数がきており、故障も起りやすいので更新したいと考えています。

農業用シヨベル借上事業

百四十万円

春先及び収穫後の利用最盛期間（四ヶ月）のみ、地元業者よりシヨベルを借上げ専用オペレーターを配置し、町保有車と合せ二台稼働により効率的に本事業を推進したいと考えています。

明暗渠掘削補助事業

六十万円

町保有車と借上車二台により推進しますが、更に時季的に幅狭しますので、業者の機械を使用した農家について、一時間当り千五百円の助成をしたいと考えています

同報無線施設事業

二千五百十一万四千円

営農指導、生活緊急情報の連絡伝達、その他公報活動に必要なため、住民から要望のあつた同報無線を、総事業費二千五百十一万四千円で全農家四百二十戸に施設したいと考えています。

この事業の概要は、無線の親局を役場に、支局を農協に設置し、それぞれ放送できることになっていきます。農家の負担額は一戸平均四万二千九百八十八円で、国の補助が二分の一あとの二分の一については、受益者負担が一万二千円その残の七十％が町、三十％が農協でそれぞれ負担することになっています。

なお支局の設置費についても農協が負担することになっています

土地改良用機械利用組合補助事業

四百万円

堆肥製造用機械利用組合補助事業 二百五十万円

地域農政特別対策事業により、現行の制度で対象となり得ない規模として、西富地区、小花井地区で導入を計画しており、土地改良用機械は、湿地用トラクター、作業機として、もみがら暗渠用機械、稲わら収集用機械、堆肥製造用機械は、稲わら収集用機械と堆肥盤を導入することを考えています。

営農集団活動促進補助事業

七十五万円

ニセコ地区農免農道整備事業負担金 五百五十六万三千元

昭和五十年より継続事業として施行してまいりましたニセコ地区農免農道整備第一期工事は、延長一千九百四十二メートルの道路改良が終了、本年度は、事業費四千四百五十万円が全舗装工事が行なわれます。これに要した総事業費は、二億四百七十八万二千円で地域基幹農道として全事業が完了いたし

福井地区農免農道整備事業負担金

一千三百三十七万五千円

新規事業として、国道五号線を起点に黒川旧国道、福井南五線を経て、終点福井南三線と三号線の接点までの区間三千九百八十メートル（橋梁三ヶ所）を本年度より、四ヶ年計画で総事業費四億二千七百円の予定で施行することになっています。

本年度は、一千二百メートルの道路改良と橋梁一ヶ所（黒川橋）の拡幅事業になりますが、その事業費の一億七百万円中一二・五％が地元負担することになっています。

国土地管理委託事業

二百四十八万五千円

国有地（農林省所管）管理事業については、一昨年から積極的にとりくみ地域農業者に払下げをしてきましたが、本年度約十二万六千平方メートルを調査し、内現在農地として利用している分八万二千平方メートルについては、補助対象の調査事業費として払下げたいと考えています。

また現在町道として認定され利用している四万四千平方メートルの国有地については、町単独で調査し、公衆用道路として無償払下げを受けるべく考えています。

商工費関係

商工会事業補助 四十万円

商工業者の育成並びに指導に当る商工会の経営指導体制の充実をはかり、経営安定と発展を望み増額助成したいと考えています。

商工購買センター事業補助 二十万円

共同仕入による利益の確保とその利益を消費者に還元する事業に対し、本年度は助成したいと考えています。

中小企業振興融資預託貸付事業 三百万円

中小企業の育成振興並びに経営の合理化を促進するために、本年度も継続したいと考えています。

観光協会事業補助 八十二万円

自然の景観に富んでいるニセコの宣伝と観光資源の開発保護、並びに観光事業の整備促進を積極的に推進するため、本年度も継続して助成したいと考えています。

勤労者憩いの村事業 一千五百三十七万四千円

ニセコ山系の観光資源の開発と



あわせて、過疎対策の一環として勤労者憩の村建設について、その誘致を積極的に進めてまいりましたが、道は三ヶ年計画で完成を目指しており、本年度予算として基本計画の作成並びに調査測量費として六百五十万円を見込んでいます。

本町としてもこれにあわせて、町道新設等の事業を計画いたしました。

本事業の概要は、安い費用で勤労者の研修やレクリエーションを目的としており、鉄筋三階建、室数三十、定員百二十名程度の宿泊施設とスポーツ娯楽施設を備えます。

工費は約十一億円で、そのうち建物は九億円で雇用促進事業団が造り、スポーツ施設、娯楽関係施設にかかる二億円については道が負担し、本町もこれに協力することになっていきます。



土木費関係

道路台帳作成委託事業

道路法で作成を義務づけられている道路台帳は、地方交付税算定の数値にもなっています。例年交付税算定のとき指適されていますが、今年次計画で作成するように指導されましたので、未改良分二

十軒、八百六十万円、改良分十軒六百万円を年次計画で作成するべく考えています。

ロータリー除雪車、ブルドーザー購入事業 三千四十万円

道路維持及び除雪作業に従事している土木機械は現在七台ですが昭和四十五年に購入したロータリー除雪車は耐用年数八年になりま

またブルドーザーについても昭和四十四年に購入し、すでに耐用年数も過ぎ損傷も激しいので今回あわせて更新したいと考えています。

道路新設改良事業

一億八千八百二十五万二千元

道路交通網の整備は、住民生活の向上や産業振興のうえから不可欠なものであり、町として重要施策の一つとして積極的に実施してきました。本年度も積極的に推進するべく次の事業を考えています

測量設計委託料として愛媛団体通外五線で四百四十万円、路盤改良費並びに舗装工事として一億七千九百六十万円、路線名、延長、中員は次のとおりです。

なお、小花井地区の絹橋架換事業三百九十万円、昆布地区のイヌフレイブ川護岸事業三百七十万円も施工するべく考えています。

愛媛団体通道路局改良工事

延長 二百米
中員 五・〇米

尾ノ上ニセコ縦貫線道路局改良工事

延長 五百米
中員 五・〇米

役場裏通道路局改良工事

延長 九十米
中員 四・〇米

中央、有島連絡線道路局改良工事

延長 四百五十米
中員 五・〇米

田下通道路局改良工事

延長 七十米
中員 五・〇米

青山温泉通道路局改良工事

延長 五百五十米
中員 五・〇米

病院前通道路局改良工事

延長 百五十二米
中員 四・五米

駅前東一線通道路局改良工事

延長 七十五米
中員 五・〇米

更新道路道路局改良工事

延長 百米
中員 五・〇米

宮田小学校通道路局改良工事

更新道路舗装新設工事

延長 二百米
中員 五・〇米

有島北一線道路局改良工事

延長 五百五十米
中員 五・〇米

西北連絡線道路局改良工事

延長 三百八十米
中員 五・〇米

真狩田道線凍雪害防止工事

延長 六百米
中員 五・五米

基礎通道路横断暗渠工事

延長 三百八十米
中員 五・〇米

宮田旧国道道路横断暗渠工事

延長 三百八十米
中員 五・〇米

新市街南一線道路排水暗渠工事

延長 八百五十米
中員 五・〇米

有島北一線舗装新設工事

延長 八百五十米
中員 五・〇米

宮田小学校通舗装新設工事

延長 二百米
中員 五・〇米

病院前通舗装新設工事

延長 百五十二米
中員 四・五米

役場裏通舗装新設工事

延長 九十米
中員 四・〇米

中央、有島連絡線舗装新設工事

延長 百九十米
中員 四・〇米

更新道路舗装新設工事

延長 二百米
中員 五・〇米

駅前東一線通舗装新設工事

延長 七十五米
中員 五・〇米

田下通舗装新設工事

延長 七十米
中員 五・〇米

尾ノ上ニセコ縦貫線舗装新設工事

延長 五百米
中員 五・〇米

公営住宅本通団地屋根葺替事業

百八十二万円

本通団地にあります十四戸の公営住宅については、昭和四十年に建設されたもので、その後屋根の破損が甚だしく雨漏り等の箇所が多く見受けられますので、本年度葺替えしたいと考えています。その外公営住宅の修繕料として百万円見込んでいます。

次に富士見団地の公営住宅ですが、ファミリースポーツセンター敷地との関連から一部（二棟四戸）を用途廃止するべく計画しており、現在道と交渉中であります。

消防費関係

防火貯水槽建設事業

三百五十万円

消防ポンプ自動車購入事業

千二百万円

町民の生命財産を火災から守り被害を最少限にとどめるため、継続的に施設の整備充実を図りたいと考えています。

現在本町の消防水利充足率は五六・四％で、消防ポンプ充足率は一〇〇％であります。

なお消防自動車については昭和三十七年に購入したもので、耐用年数の十五年に達しましたので本年度更新するものであります。

教育費関係



のちほど教育長から本年度の教育に対する考え方を申し上げますが私としましては本年度も学校教育の強化、社会教育の充実それに本年度の柱になっていきます体育文化の振興に特に配慮いたしました

また本年度から教育委員会の管理になります有島記念館の運営管理費として六百四十九万九千円を計上いたしました。

「空気、水、土地などは個人が所有すべきでない」ということで無償で農場開放した大正の文豪有島武郎の足跡を一室に集めた有島記念館も、四月二十八日に開館する予定であります。

建物は昨年十二月に完成しましたが、資料の展示を現在藤女子大学の山田先生、札幌大学の高山先

生などに指導していただき、現代ビニローの井口光雄氏の手で進められています。

今後本町の名所として、また文学を愛するもの思索の場として積極的に活用していきたいと考えています。

また記念館をおとづれる人の為に、記念の絵ハガキやしおり等を作成販売いたしました。その経費を観光協会に百二十万円助成したいと考えています。

簡易水道事業特別会計関係

建設改良事業

七千五百一十一万八千円

水道の必要性は今さら申し上げるまでもなく、生活に必要な水を供給するにあたって安全な水を送り、人々の保健衛生を確保することでありますが、それだけに生活水準にあつた十分な水量が必要であります。

御承知のとおり市街地区簡易水道施設は、昭和三十五年に布設されたもので、当時町村としては早いほうで大変住民に喜ばれましたが、その後施設の老朽化とあいまつて市街地給水人口の増、更には一人当りの水消費量の増大などから水量不足が目立ち、一部地区においては日常生活に不便をきたしているところが見受けられます。

この際配水池の増設と配水管の一部、増口径管布設替えを実施し住民の不便を解消するべく考えています。

しかし本事業については、国の補助制度はなく、全面的に起債に依存しなければならぬ実情にあり、更には一般会計から繰入金も見込んでいます。

以上の外に住民からまだ多くの要望がありますが、限られた町財政の中では自から限度があり、できるだけ要望に応えるために、本年度も国費、道費の導入を積極的にはかつていきたいと考えています。

本年度予定されている国費、道費の事業は次のとおりです。

国営事業

福井地区国営直轄明渠排水事業

三百九十米 九千万円

カシノベツ地区国営直轄明渠排水事業

百米（橋梁一ヶ所） 二千万円

道営事業

ニセコ地区農免農道整備事業

千九百四十二米（本年度舗装） 四千四百五十万円

福井地区農免農道整備事業

千二百米（橋梁一ヶ所） 一億七百万円

近藤地区過疎農道整備事業

四百米 千九百二十万円

町政はあなたのために



教育行政執行方針



体力づくりと創造性に富んだ豊かな人間性の育成

教育長 春日井 亨

昭和五十三年第三回ニセコ町議定例会にありまして、教育委員会が本年度推進しようとする行政執行について述べたいと存じます。

教育行政につきましては、町長をはじめ町議会の深いご理解と、町民各位のご協力により懸案の諸問題が逐次解決されておりますことは、誠に感謝に堪えない次第であります。

ますます広域化し、激動する社会にありましては、これに適應する健康と強じんな精神が必要であるとされておりますので、町民の体力づくりと創造性に富んだ豊かな人間性の育成をめぐり、諸般の施策遂行に全力をあげてまいり考えてまいります。

一、ニセコ町教育目標の設定について

国の教育目的や目標は、日本国憲法、学校教育法、社会教育法に示されており、北海道には昭和二十六年に制定された北海道教育目標があります。現在各学校ではこ

れを受けて地域や児童生徒の実態に即した教育目標を設定し教育活動の具体化をはかつており、社会教育また同様の考え方に立つておこなわれております。したがって教育が地域社会の実態に即しておこなわれるものであるからには、ニセコ町の発展に寄与する人間像のあり方を追求し、具現に努力するために校長会などの町内教育関係団体等の協力を求め、昭和五十二年より着手しましたが、本年度完成するよう取進めてまいります。

二、学校教育の推進について

(一) 教職員の自主的研修を高めるため、次の事項を実施いたします。

イ、町教育研究会その他自主的研修団体の活動を助長いたします。

ロ、教職員の研修の拡大を目的とする後志教育研修センターの利用をはかります。

ハ、道外教育視察研修に参加

(本年度教職員二名)

ニ、昭和五十五年開催を予定されている全国へき地教育研究大会のための研修に對して助成します。

(二) 教育施設及び環境の整備をはかります。

イ、学校の教材備品については、教育内容の充実を願って整備をいたします。

特に補助制度のあるものについては補助金の導入について充分検討し充実をはかります。

ロ、バス通学生のために、バス会社に対し助成を行ない運行の改善をはかります。

ハ、宮田小学校に体力づくり運動場を建設いたします。

ニ、ニセコ高校に生徒作業準備室を建設いたします。

ホ、教職員宿舎建設は前年に引き続き一戸を建設いたします。

三、社会教育推進について

健康でたくましい郷土づくりのことができる、豊かな人間の開発と、創造力にあふれた人間性を養うため公民館活動を充実し、生涯教育の観点にたつて、次の事項を進めてまいりたいと存じます。

(一) 青少年教育の充実振興

青少年団体の自主的活動を促進し、その充実をはかるため、子供会、少年団体育リーダー養成、ボーイスカウト育成青協活動、青年国内研修に對し助成します。

(二) 家庭教育、成人教育の振興

明るい家庭と、豊かな心を養うため婦人学級、成人教室家庭教育学級等の開設を計画しております。また、生涯教育の課程とされており、高齢者教育につきましては、福祉行政とあいまつて寿大学を開設し、生きがいのある楽しい生活と、仲間づくりができるようにとめします。

(三) スポーツ振興と町民の健康増進

町民のたくましい体力を養成するため、体育協会の協力提携によつて、町民運動会を開催し、道民スポーツ大会をはじめ各種スポーツ大会に積極的に参加するほか、スポーツ少年団の育成等、町民のスポーツの振興と健康の増進をはかります。(地方スポーツ大会、オリエンテERING大会、全町スキー大会、全町ソフトボール大会、町民ラジオ体操会)なお、スポーツ振興のため小学生四年以上、中学生全員に対しスポーツ傷害保険の加入をはかり、その保険料全額を町費で負担すること

四、文化活動の推進

町文化協会は、現在十六の加盟団体によつて活動しておりますが、その一層の活動を促進するため、助成額を増額いたしております。

(四) 町民憲章の実践

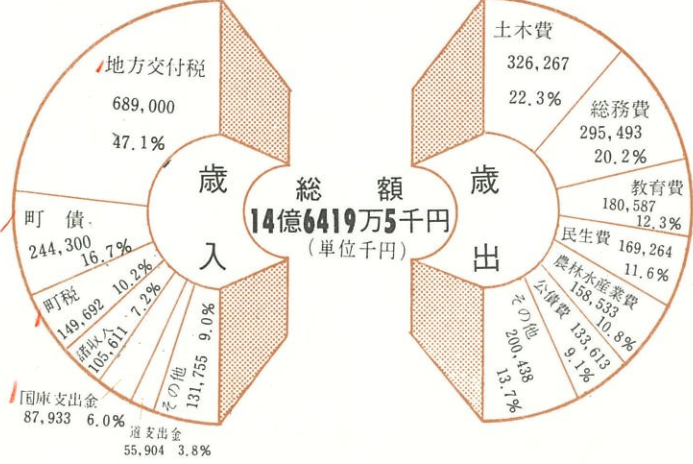
町民憲章の実践を積極的に推進するため、明るいニセコ町の実現をめざして、花いっぱい運動を展開し、新生活運動の強力な実行をはかるため各駐在区より推せんされた推進員の活動を求め、積極的に実践活動をおこないます。

四、学校給食について

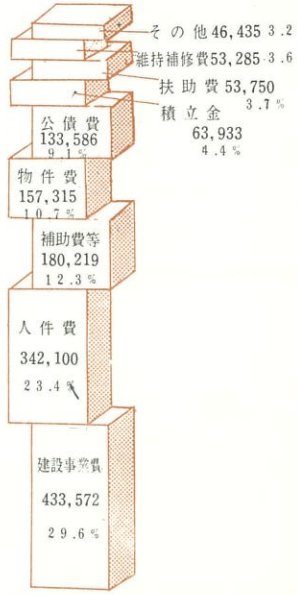
児童及び生徒の心身の健全な発達に資し、かつ国民の食生活の改善に寄与する目的を達成するため学校給食の充実をはかります。以上、教育行政執行方針の概要を申し上げますが、町教育委員会といたしましては、教育関係機関との連携をいっそう深め、明るい住みよい町づくりをねがい、教育行政の振興につとめてまいり所存でございますので、各位の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

昭和53年度一般会計予算

一般会計歳入歳出の内訳



一般会計歳出性質別予算の内訳



ニセコ町監査委員に

片山 英夫氏を選任



第三回定例町議会において、健

片山 英夫 氏(温泉)
大正十三年七月十五日生
(五十三才)

康上の理由により退任の申し出がありました町監査委員三ツ本衆造氏の後任として、片山英夫氏が議会の同意をえてニセコ町監査委員に選任されました。

一口医学部 がん検診 問答

問一 胃や婦人科の「がん」検診が行われていることは知っていますが、どんな人が受ければよいのですか。

答 ぜひ受けていただきたい対象は胃の場合三十五才以上の男女、特に三十五才から六十九才までの方々です。この年代は胃がんの発

生割合が非常に高くなるからで、なお妊娠中の方は受診できません。婦人科の場合は三十才以上の婦人が対象です。

乳房検診は、自分でオツパイに触れて見て何か異常を覚える婦人を対象に、がん協会検診センターで実施しています。肺がん検診は、特に危険度が高い。

一、満四十才以上の男子
二、有害業務に従事している人
三、煙草を一日二十本以上二十年以上喫つてきた人
四、咳や痰がしじゅう出る人、血痰の出る人、胸痛のある人などが対象で、がん協会検診センターで実施します

肺がん検診は、エックス線検査の外咳痰検査も行います。
問二 胃の検診を受けるときなぜ煙草を喫つてはいけないのですか。

答 正確に読みとることができない良い写真を撮るためです。煙草を喫うと煙の一部が胃の中に入つて写真がくもりますし、煙草の刺激で胃が運動をおこし、良い写真が撮れないおそれがあるからです。

町の目誌

- 3月 4日~5日 第三回北海道雪の祭典
6日 議会運営委員会
7日 北方領土を知る住民のつどい
10日 例月出納検査
11日~18日 第三回定例町議会
11日 経営常任委員会
15日 総務常任委員会
15日 ニセコ高校対策特別委員会
17日 寿大学
20日 予算特別委員会
22日 教育委員会
24日 農業委員会
26日 ニセコ滑降競技大会
27日 公民館運営協議会
27日 土地開発公社理事会
29日 青少年問題協議会
30日 体育指導員会議
31日 青年学級閉講式
31日 選挙管理委員会
31日 交通安全推進委員会

昭和53年度 畜犬登録について

- 畜犬登録は4月30日までに
登録しなければならぬ畜犬
○ 生後90日以上の畜犬
○ 登録料 1頭 300円
○ 受付場所 役場衛生係

ガンは早い発見、早い治療

町では住民の健康を考へ年二回の胃腸病検診を実施しております日本人は三十五才から六十五才の働き盛りの年齢層が「ガン」の発生年齢といわれています。また最近老人に比較的発生件数が多く死亡率が高くなつてきておりますが社会的、家庭的にも損失と悲劇をもたらすことはご承知のとおりです。最近医学の進歩により早期発見、早期治療により治る病氣となつております。

◎胃腸病検診
 期日 四月十七日から十九日
 時間 午前五時三十分から午前

六時三十分

期日と場所

四月十七日
 西富地区町民センター
 四月十八日、十九日
 ニセコ町民センター

◎婦人科検診
 期日 四月二十二日
 時間 午前八時から午前八時三十分
 十二時から十二時三十分
 受診希望者の二百名をこえたときは二回にして受付する。

場所 ニセコ町民センター

検診料 胃腸病検診料と同じ
 検診対象者 三十才以上の婦人
 委員に申込して下さい。

成人病健康相談

開催のお知らせ

近年慢性疾患（高血圧等）が急激に増えております。町では早期発見、早期受診、日常生活管理の観点より重症防止のためつぎのとおり健康相談を開催いたします。

日程 四月五日 西富地区町民センター

期日 四月十日
 時間 午前十時～午後三時
 内容 血圧測定・日常生活指導・必要に応じ尿検査（糖・蛋白）体重・身長測定等

担当者 高木保健婦

全道春の

火災予防運動の実施

期間 4月20日から5月9日まで
 統一標語 使う火を消すまで
 離すな 目と心

雪融けとともに火災の最も起きやすい季節がやってきました。火災は財産ばかりでなく尊い人命までうばつてしまいます。その原因の殆んどが不注意によるものです。

昨年北海道では、戦後最高の百四十七名の尊い人命が火災のためうばわれています。

昨年、組合管内で発生した火災は十七件あり、七、五〇〇万円の財産が灰になり、一人の尊い生命がうばわれています。みんなが火の元に注意をして恐ろしい火事を出さないようにいたしましょう。

火災予防査察を

実施いたします

組合消防署、支署では四月一日から四月三十日まで予防査察のため、各家庭、事業所等の立入検査を行ないます。

消防職員が査察に伺いましたら火災予防についてどんなことでも遠慮なく相談して下さい。また、査察の際、指導をうけたところは必ずなおして下さい。

戸籍の窓口

(53年2月末現在)

男.....2,312人
 女.....2,474人
 計.....4,786人
 世帯数...1,306世帯

2月21日から
 3月20日まで

ご結婚

おめでとう。

吉岡 登=盛 明美 (ニセコ)
 久保 市夫=加賀谷京子 (里見)



お誕生

おめでとう。

松田 千春 信 夫 (富士見)
 鈴木 清之 日出夫 (藤山)
 菅原美由紀 恵 (東山)
 津野 貴司 堅 剛 (中央3)
 工藤亜理沙 清 治 (西富)



おくやみ

申し上げます。

長江 恵治 78歳 (富士見)
 津野 貴司 0歳 (中央3)
 小坂 ヒロ 76歳 (王子)
 早坂かねよ 66歳 (有島2)
 吉岡 善助 63歳 (富士見)

